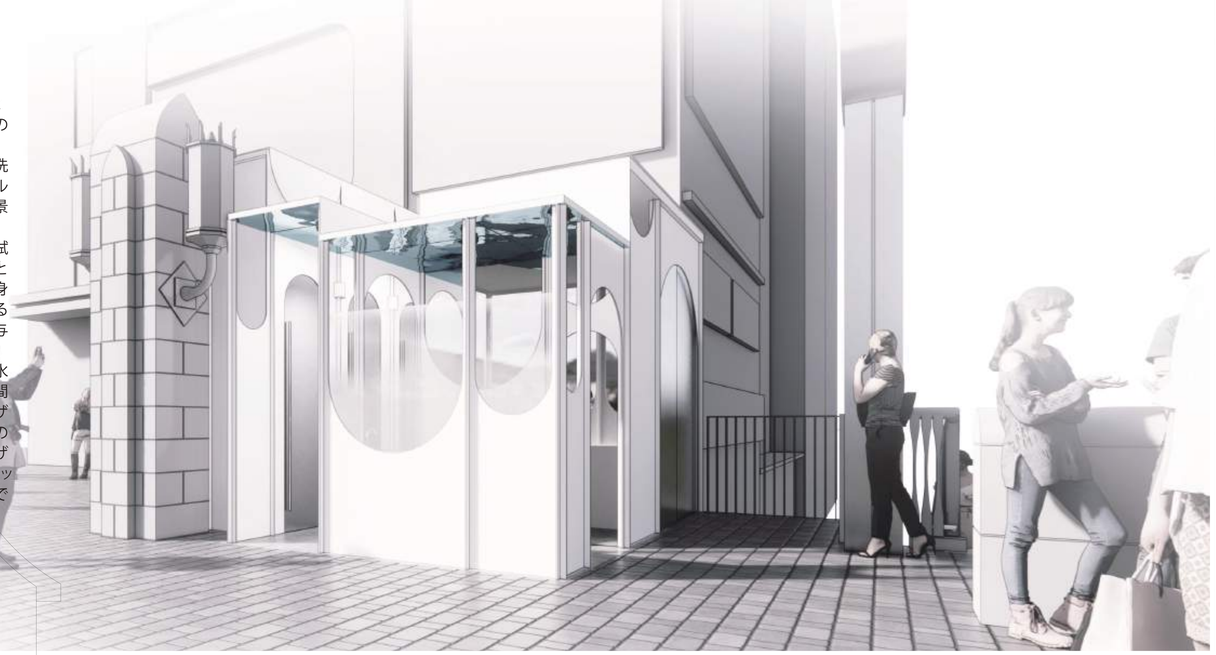
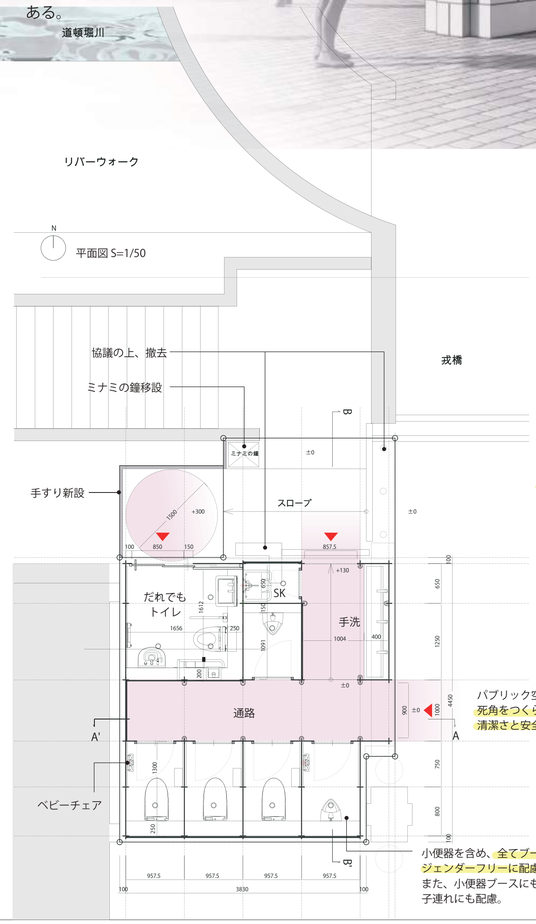
登録番号 42

INVERTED WATER SCAPE

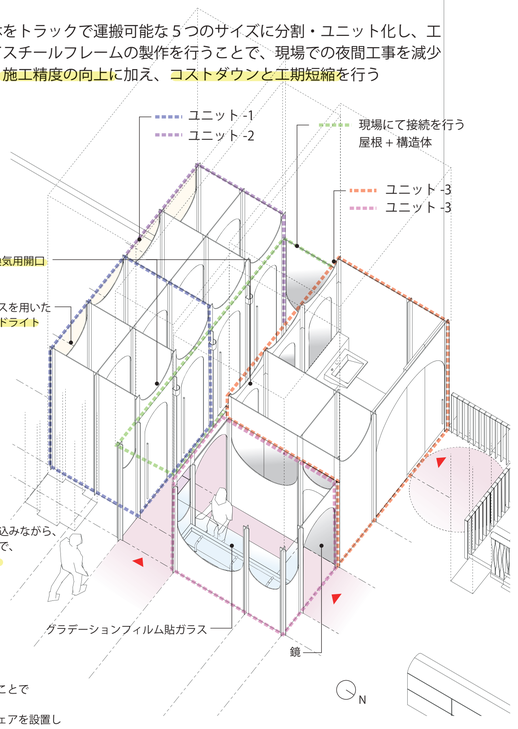
- 反転した水面の景色 -

世界中の人々が集まる本計画地において、「水の都大阪」を体現しながら、道頓堀川・戎橋の新たなアイコンとなるトイレを目指した。
通りに対して開放的に設けたトイレの通路と洗面エリアの天井面に、アルミ製の水面柄パネルを用いることで、街の喧騒を美しく揺らいだ景色に変換し、新たな風景を作り出す。
同時に公衆便所のもつ不衛生なイメージを払拭し、死角のない空間をつくることで、安全性と清潔さを保つこと意図した。トイレ利用者自身の姿を様々な角度で映し出し、公共の場である意識を持たせることで、清潔さの維持にも寄与する。
頭上には上下が反転した世界が映し出され、水中から水面を見上げているような不思議な空間が生まれる。美しい水面の反射や煌めきをデザインモチーフとして用い、行きかう人々に水の美しさを再認識させることで、道頓堀川が掲げる水質・環境改善への意識を問いかけ、パブリックアートとしても機能するような公衆トイレである。

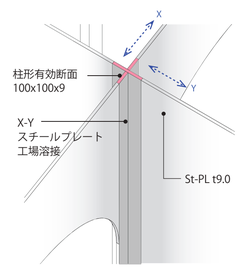




構造体をトラックで運搬可能な５つのサイズに分割・ユニット化し、工場にてスチールフレームの製作を行うことで、現場での夜間工事を減少させ、施工精度の向上に加え、コストダウンと工期短縮を行う

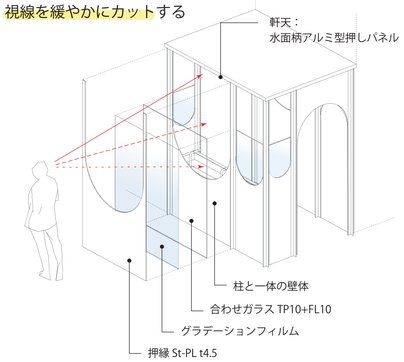


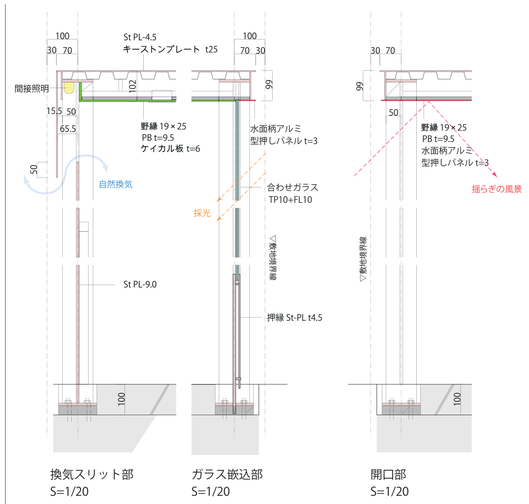
小便器を含め、全てブース化することで
ジェンダーフリーに配慮。
また、小便器ブースにもベビーチェアを設置し
子連れにも配慮。



スチールプレートを十字に組み合わせ、柱と壁が一体となった構造体で建築を構成する。壁の厚みを抑えることで、狭小な空間の有効利用を可能とする

グラデーションフィルムを用いることで、通りを歩く人々から軒天への視線を通し、水面パネルが映し出す揺らいだ風景を街の風景の一部としながら、手洗スペースへの視線を緩やかにカットする

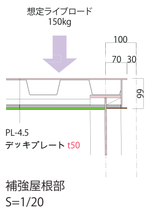


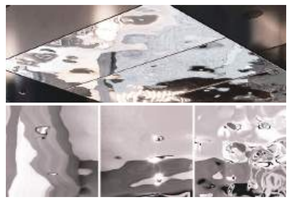


換気スリット部
S=1/20

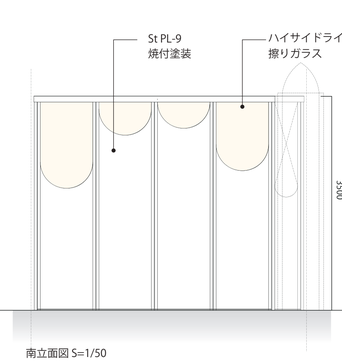
ガラス嵌込部
S=1/20

開口部
S=1/20

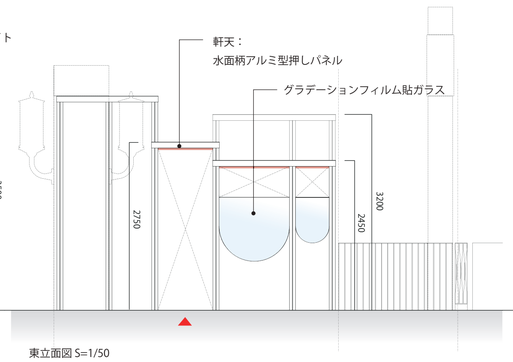




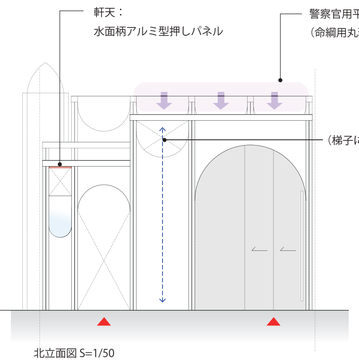
菊川工業 _ 水面 (みなも) パネルイメージ



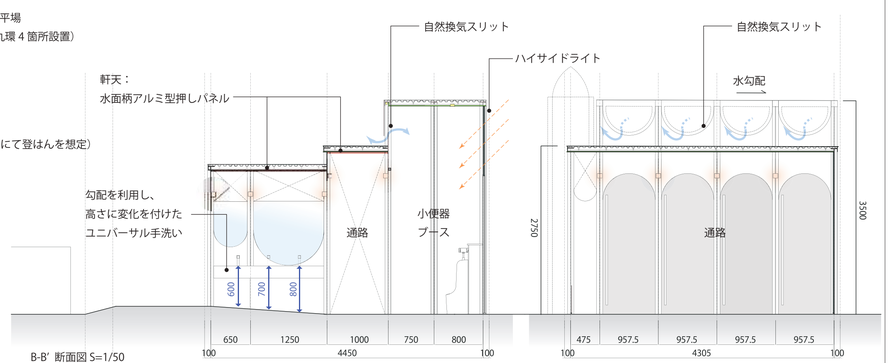
南立面図 S=1/50



東立面図 S=1/50



北立面図 S=1/50



B-B' 断面図 S=1/50

A-A' 断面図 S=1/50

計画概要

敷地面積	25.70 ㎡	構造	鉄骨造
建築面積	18.41 ㎡	規模	地上 1 階
延床面積	18.41 ㎡	最高高さ	3500mm
建坪率	71.64%<80%		
容積率	25.70%<500%		

外装仕上表

屋根	St PL-4.5 焼付塗装
外壁	St PL-9 焼付塗装
開口部	合わせガラス TP10+FL10
	押縁：St PL-4.5 焼付塗装
軒裏	水面柄アルミ型押しパネル t3.0
外構	磁気質タイル貼り
	手摺 : St FB- 42×4.5 / St φ-12 溶融亜鉛メッキ

内装仕上表

室名	床	壁	天井
小便器ブース	カラーコンクリート t100	St PL-9 焼付塗装	ケイカル板 t6 EP
大便器ブース	同上	同上	同上
だれでもトイレ	同上	同上	同上
SK	同上	同上	同上
通路	同上	同上	水面柄アルミ型押しパネル t3.0

概算工事費

総 工 事 費　77,000,000- (税込)

内　訳

		単位呼称	
建築工事費			48,000,000
主体工事費	1 ー	式	35,000,000
外構工事費	1 ー	〃	13,000,000
設備工事費			8,000,000
機械設備工事費	1 ー	〃	5,000,000
電気設備工事費	1 ー	〃	3,000,000
諸経費			14,000,000
共通仮設費	1 ー	〃	7,000,000
現場管理費	1 ー	〃	4,000,000
一般管理費	1 ー	〃	3,000,000
合計（税別）			70,000,000-
合計（税込）			77,000,000-

（参　　考）
※消費税率は10%で算定しています。
※工事費概算については、令和4年度工事費変動率で算定しているため、実施年度に応じた工事費変動率を別途加算する必要があります。
※日中の仮囲い範囲は歩行者、周囲店舗等に支障のないように最小の範囲としています
工事の際には、必要となる工事範囲を確保するためにガードフェンスにより、仮囲い範囲を拡張することを想定しています。
※毎回の作業終了時に片付け及び清掃業務を計上しています。
※深夜作業（25時から8時）を想定したうえで計上しています。作業時間帯の変更が発生した場合、工事費、工事監理費及び工程が大幅に変わる可能性があります。